

おすすめ! NPO /
NPO
活動レポート
vol.9

中国地方各県よりNPO団
体を紹介しているこのコー
ナー。今回は広島市の多機
能型福祉事業所「憩(いこ
い)」と岩国市を拠点に子
育て支援等に取り組むNPO
法人「とりで」を紹介します。

魅力ある商品開発で 事業所と利用者さまの 未来に新しい風を!

就労支援事業と生活介護事業を組み合わせた多機能型事業所を営むNPO法人「憩(いこい)」。魅力ある商品開発と利益を生み出す工夫を盛り込んだ就労支援事業で、事業所と利用者さまのあり方に対して、新しい可能性を生み出しています。

広島県 特定非営利活動法人 **憩(いこい)**

利益を生み出す商品が、利用者さまの真の自立を支援

「理想とする福祉をカタチにしたいけども、雇われの身ではやはり限界があります。そこで自分たちの思いを実現する、当事業所を設立しました」と語るのはNPO法人「憩(いこい)」の副理事長を務める上田ユミさん。

18年前の2002年、看護師でもあるユミさんは、介護士の資格を持つ夫の雅彦さんと二人三脚で、現法人の前身「憩作業所」を設立しました。当初は無認可の作業所で、利用者さまも5名ばかりの小規模なものでしたが、徐々に運営を整備し、2007年にはNPO法人を設立。2008年に活動拠点を現在の事業所に集約し、作業に応じて工賃が支払われる就労支援事業と生活介護事業の2つの機能を併せ持つ多機能型事業所へと移行しました。

そして、就労支援事業を行うにあたって、上田さん夫妻が特に配慮したのが魅力あるオリジナル商品の開発でした。「内職だけではなかなか工賃が上がらない。どうしてもオリジナル商品が作りたかった」というユミさん。手先の器用な利用者さまと試行錯誤を重ねながら、折り鶴をモチーフとした商品が完成。観光客に人気のアイテムとなり、主力商品として売り上げを伸ばしているそうです。「おかげで作業所のみんなにボーナスが出せました」と喜ぶ上田さん夫妻。夫妻の新しい試みは、授産品や事業所のあり方に新たな可能性を与えています。



材料を作業所から受け取りに行くことで配送費をカットし、その分生まれた利益を工賃に還元しています。



毎日、ここに来るのが楽しみという利用者の中山さんと和田さん。明るい笑顔がとても印象的!

平和都市・広島にふさわしい 折りを込めたオリジナル商品

せっかく広島の地で活動しているのだから、意味のあるものが作りたいという思いから誕生した風鈴とオブジェ。一羽一羽の折り鶴には、作り手の「世界中の人が平和に暮らせますように」という願いが込められています。



理想の介護をカタチにして届けています



心と心の通い合いを大切にしながら、 温もりが感じられるサービスを提供

生活介護事業では、障がいを抱える利用者さまに対してデイサービス事業を行っています。利用者さまの定員はスタッフの介助が十分行き届くことを配慮して10名(登録は15名)とし、マンツーマンの介護を基本としています。

また、コミュニケーションの可能性を広げる「ひらがな学習」も特徴的な取り組み。自身の意思を伝えるのが困難な方も、「ひらがな学習」を通して、より豊かな感情表現が可能となり、スタッフやご家族との意思疎通を楽しまれています。

「利用者さま一人ひとりに応じた、丁寧な介護が理想」という上田さん夫妻。食事の際もスタッフがマンツーマンで介助を担当し、声をかけながら和気あいあいと食事を楽しまます。



入浴が難しい方のために最新の入浴設備も完備。安心して心身ともにリフレッシュしていただけます!



いつも笑いが絶えないレクリエーションの時間。ときには「ひらがな学習」の成果を発揮して、時事問題クイズに挑戦することも!利用者さまの心からの笑顔に癒されます。

それぞれのペースにあわせた支援を大切にしています



特定非営利活動法人 憩
理事長 上田 雅彦さん

慌ただしい時間の中でのサービスではなく、利用者さまのペースにあわせた就労支援や介護をモットーに、お一人おひとりの可能性を広げることが第一に考えています。就労支援においては今後も材料や工程を工夫しながら、利用者さまには利益を、そして購入して下さるお客さまには、さらなる満足をお届けしたいと考えています。また、最近では、販路の開拓にも力を入れて活動しております。当事業所の商品にご興味のある方は、ぜひ、お気軽にご連絡ください。



就労継続支援B型事業所のみなさま

取材協力 / 特定非営利活動法人 憩
広島市安佐北区可部町勝木1248-56
TEL:082-298-6609
メールアドレス:rsc82615@nifty.com